青少年相談センターだより

富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町１番１号　富士市教育プラザ内
電話＜０５４５＞５２－４１５２
FAX ＜０５４５＞５２－３７３７

令和３年度　第１号

『 心 は 密 に 』

富士市青少年相談センター　所長　山田　馨

例年より早い梅雨入りを喜ぶかのように、色とりどりのアジサイが目を楽しませてくれています。青少年相談センターがある「富士市教育プラザ」の敷地内には、薄紫や淡い青色のアジサイがきれいに咲きほこっています。お近くにお越しの際は、どうぞご覧ください。

さて、令和２年度の「青少年相談センターだより第１号」で、私は『止まない雨はない　明けない夜はない』と新型コロナウィルス感染症が収束し、普通の生活が戻ってくる日が必ず来るということを書かせていただきました。しかし、あれから１年たちましたが、収束までにはまだ時間がかかりそうな状況です。ワクチン接種が思うように進まない…変異ウィルスによるクラスターの発生…課題は山積と言えるでしょう。

先日のことです、新聞に目を通していると、「現在の日本はVUCAの時代」という言葉に引き付けられました。ご存じの方も多いと思いますが、VUCAとは、Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性、の４つの言葉の頭文字をとって作られた造語で、社会やビジネスにおいて将来の予測が困難になっている状態を示すということです。このような時代のせいでしょうか、テレビや雑誌、新聞、インターネットなどから得る情報が、とても批判的だったり攻撃的だったりするものが多い気がします。かくいう私も、ほんの少しのことでもイライラしてしまう生活を過ごしています。皆様はいかがですか？批判的・攻撃的になってはいませんか？

ちょっと暗い気持ちになっているときに、温かい言葉と出会いました。それは、『心は密に』という言葉です。この言葉は、学校や会社など、いろいろな場面で使われていますが、私は時々自分に言い聞かせるようにつぶやいています。

富士市青少年相談センターでは、次世代を担う健全な青少年を育成するため、青少年に良好な地域環境を整備し、社会生活を営む上で困難を抱える子供、若者及びその家族を支援していきます。コロナ禍の中ではありますが、今年度も

〇青少年指導委員の各種補導活動を中心とした、青少年健全育成活動・非行防止活動
〇不登校・いじめ・非行・進路などの青少年の悩みについての相談対応と、不登校児童生徒の社会的自立を目指す「ステップスクール・ふじ」の運営
〇困難を抱える若者及び家族等の相談活動を行う若者相談窓口「ココ☆カラ」の運営

以上の３点を事業の柱としていきます。

所員 15 名が一丸となって、支援を必要とする児童生徒や若者たち、そしてそのご家族を丁寧にきめ細かく支えていきます。「ソーシャルディスタンスは保っても、心は密に」を心掛けてまいります。

◇◇◇　富士市青少年指導委員会から　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

コロナ禍の中、スマホについて考えること

原田班　鈴木正伸

個人的な話になってしまいますが、昨年の 11 月頃より家人の病院受診の付き添いの為、度々病院に行く機会が増えました。コロナ禍の中、病院通いは不安ですし慎重になりますが、待合室には受診する人たちが非常に多く、従いまして待ち時間もかかります。

その待合室で受診を待つ人達には、スマホの画面を見入る方が非常に多いと感じました。私より年齢が上、70 代以上の人達ではあまり見られませんが、若い人たちは殆どスマホとにらめっこ状態です。

私の普段の生活では、パソコンでインターネットを多少利用しますが、スマホは現在持っていません。スマホの普及はこの 10 年くらいで非常に拡大したのは事実でしょう。スマホの画面を見る時間もそれに比例して相当増えたらしく、それにつれ、子供たちも大人たちと同じように利用し、中には一日の使用が４～５時間になる子供たちもいるようです。

「子供の脳は未発達であり、特に「前頭前野」が十分成熟していないためにスマホ依存を抑えようとする力が弱い。そのため、子供たちは好きなものには、はまってしまう事を前提で見ていないといけない。」という脳神経科学の大学教授の新聞記事を、以前読んだことがあります。就寝直前まで、中には深夜に至るまで使用する子供の割合も増加しているとのことで、朝、布団から出るのがつらいと回答する児童、生徒が年々増えている調査の結果もあるようです。

最近、新聞の本の紹介で興味が湧き読んだ本の中に、スウェーデンの精神科医が書いた「スマホ脳」という本があります。人間の脳の発達と現代のデジタルライフとにミスマッチが生じており、スマホの使い過ぎで集中力に悪影響が出る、不安やうつの危険因子になる、睡眠不足の原因になる、座りっぱなしのライフスタイルで運動不足になる、等々、いろいろな問題を起こしているそうで、最大の影響は「時間を奪うこと」だそうです。大人たちでさえ、それだけの影響があるのですから成長過程の子供たちには尚更です。

現在はコロナ禍で普通に実施されていた学校行事、クラブ活動の大会、地域のいろいろなイベント、お祭り等が中止となっています。スマホはこれからの世の中で無くてはならないツールとなるでしょうが、青少年のスマホに向き合う時間が必要以上に増えてしまわないよう周りが目を配り、今は、思いっきり体を動かし運動をする、友達と過ごす時間を大切にする日常が早く戻ってくることを願うばかりです。そして、何より我々大人たちは手本となる行動をしなくてはならないと考えております。

◇◇◇　若者相談窓口「ココ☆カラ」　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

令和２年度は、98 件の新規相談、1,121 件の継続相談、合計 1,219 件の相談活動を行いました。新規相談の 98 件の内、年代別では、10 代後半が 39 件（40%）、20 代が 30 件（31%）でした。また、内容別では、就労支援が 41 件（42%）、学業・進路が 13 件（14%）でした。相談者の状況別では、不登校が 12 件（12%）、ひきこもりが８件（８%）、その他が 78 件（80%）でした。

また居場所として「ココ☆カラ」や教育プラザを利用した延べ人数は 2,599 人でした。

令和２年度の「ステップスクール・ふじ」の実績

主任相談員　石井邦芳

「ステップスクール・ふじ」は、昨年度大きな改善に取り組みました。特に力を入れた改善点は以下の４つです。

１　目的の変更

『一人一人に応じた支援を進め、社会的な自立を目指す』としました。登校（学校復帰）という結果のみを目標とせず、不登校で困難を抱えている児童生徒の一つの居場所として「ステップスクール・ふじ」を活用してほしいと考えました。

２　開所時間の拡大

昨年度の午前９時 30 分～午後２時 30 分（５時間）から、午前８時～午後６時（10 時間）へと開所時間を拡大しました。時間拡大により、仕事をされている保護者や家族の送迎がしやすくなりました。

３　多様な学びに対応

学びの時間には、各教科の学習だけでなく、読書・絵画・工作・タブレットの使用など、学びの幅を広げました。また、午後の交流活動（ふれあいタイム）ではカードゲームやボードゲームなどを利用して、利用児童生徒が多くの人と交流できる機会を増やしました。

４　中学生の利用時の服装

各学校のジャージ（体操服）または制服に加えて私服も可としました。公共の交通機関を利用して通級する中学生も増えました。

相談件数・利用者数・延利用人数を過去５年間で比較してみました。
全ての項目で、令和２年度は最高数となりました。
特に延利用人数では、前年度より 1,000 人以上増加しました。
上記の改善点が効果的だったこともありますが、「ステップスクール・ふじ」の存在が、広く認知されてきたことも増加した要因だと考えられます。
今年度以降も、一人一人に寄り添った支援を心掛けていきたいと考えています。

○「ステップスクール・ふじ」に関係する相談件数（件）

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
件　　数	７６	１０９	１０２	１２２	１３１

○「ステップスクール・ふじ」利用者数（人）

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
利 用 者 数	４７	６４	４８	７６	８３

○「ステップスクール・ふじ」延利用人数（人）

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
延利用人数	２，０８９	２，２６７	１，５７５	２，３１４	３，４５９

職員紹介

本年度、赤池　好之、磯野　和彦、田中　亘、守谷　実が新たに加わりました。
よろしくお願いします。

●所　　長：山田　馨　　●統 括 主 幹：赤池　好之　　●主　　査：芦澤　歩美
●主任相談員：石井　邦芳　　●相　談　員：磯野　和彦、田中　亘、関　美千代
●育　成　員：川口　壽彦　　●指　導　員：中田美津代、竹田　文美
●サポート員：増田　良夫、鈴木　弘行　　●支　援　員：武井　幸治、守谷　実
●業務補助員：松田　敏明

「ほっとテレフォン・ふじ」受信状況（令和２年度）

1　総受信件数(令和２年４月から令和３年３月まで)
　受信件数（７５件）　　業務日数（２４３日）

2　曜日別受信状況

	月	火	水	木	金	計
件　数	１３	１９	１７	１３	１３	７５
日　数	４７	４７	５０	４９	５０	２４３

3　時間帯別受信状況

時間帯	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	時間外	計
件　数	１３	１６	１１	７	９	９	７	３	０	７５

4　通話時間別受信状況

時　間	10 分以内	10〜20 分	20〜30 分	30 分以上	計
件　数	５２	１７	４	２	７５

5　学校，その他・男女別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	０	３	４	１	０	０	２	０	２	１	１３	３０
女	３	０	０	０	０	０	２９	０	０	０	３２	
計	３	３	４	１	０	０	３１	０	２	１	７５	

6　学校，その他・内容別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
Ａ学校生活	０	１	０	１	０	０	７	０	０	０	９
Ｂ対人関係	２	０	１	０	０	０	４	０	０	０	７
Ｃ進路適性	０	０	０	０	０	０	２	０	０	０	２
Ｄ非社会的	０	０	０	０	０	０	５	０	０	１０	１５
Ｅ心身発達	０	２	３	０	０	０	８	０	０	０	１３
Ｆ反社会的	０	０	０	０	０	０	２	０	０	１７	１９
Ｇその他	１	０	０	０	０	０	３	０	２	４	１０
計	３	３	４	１	０	０	３１	０	２	３１	７５

7　メール相談（時間帯別受信状況）

時間帯	0〜6時	6〜8時	8〜10時	10〜12時	12〜14時	14〜16時	16〜18時	18〜20時	20〜22時	22〜24時	合計
件数	０	０	１	０	０	１	２	０	０	０	４

令和２年度 青少年指導委員による補導状況（４月～３月）

行為・区分 ＼ 学識別		学生・生徒 小学生	学生・生徒 中学生	学生・生徒 高校生	学生・生徒 その他の学生	学生・生徒 小計	有職少年 無職少年	合計
行為種別	飲酒							
行為種別	喫煙							
行為種別	深夜徘徊							
行為種別	不良交友							
行為種別	怠学・怠業							
行為種別	シンナー等薬物乱用							
行為種別	不健全娯楽 ゲームセンター入場	1				1		1
行為種別	不健全娯楽 パチンコ店入場							
行為種別	不健全娯楽 その他風俗営業入場							
行為種別	暴走行為							
行為種別	自転車二人乗り・無灯火			2	4	6		6
行為種別	危険な遊び							
行為種別	その他 帰宅	8	13	59 (20)	2	82 (20)		82 (20)
行為種別	その他 マナー		1	11	6 (3)	18 (3)		18 (3)
行為種別	その他 その他	26 (4)	25 (8)	66 (15)	3 (1)	120 (28)	3 (1)	123 (29)
合計		35 (4)	39 (8)	138 (35)	15 (4)	227 (51)	3 (1)	230 (52)
措置区分	声掛け（注意・指導）	35 (4)	39 (8)	133 (35)	15 (4)	222 (51)	3 (1)	225 (52)
措置区分	家庭・学校・職員等連絡							
措置区分	警察・派出所等連絡			5		5		5
措置区分	他機関への連絡・通告							

※( )は女子で内数

街頭補導日誌（要約）　令和２年２月～４月

元吉原班	４月９日(木)	東田子の浦駅駐輪場周辺、吉原駅北口、南口及び地下道の見回りを行ったが特に問題はなく、「鈴川みなと公園」と「富士と港の見える公園」周辺の見回りをし、街灯が切れていたのでみどりの課に連絡した。
浮島班	３月４日(木)	新型コロナウィルス感染予防対策で、徒歩で浮島緑地公園を巡回した。公園内に放置自転車があったが、同行してくれた駐在さんが翌日対応してくれるとのことだった。
須津班	４月22日(木)	コロナ禍のため、子供も大人も補導時間帯出歩いている人がいなかったが、中学生が一人、塾帰りで歩いていたため、車などに注意をして帰るよう声掛けをした。
吉永第一班	３月11日(木)	吉永第一小学校の体育館は電気が点いておらず、グラウンド西側にサッカーの練習帰りの親子がいたので挨拶した。諏訪神社は全体的に綺麗だったがゴミ箱が一杯でこぼれていたので、拾って押し込んだ。
吉永北班	３月９日(火)	まちづくりセンターにてミーティング後、公園を中心にパトロールを行った。公園内にタバコの吸い殻が散乱していた。まちづくり協議会に報告した。特に人には会わなかった。
原田班	２月10日(水)	まちセンに集合し、コロナ禍での班員の仕事の状況、緊急事態宣言の出ている他県への出張の苦労、主になったリモートによる在宅での仕事等の情報交換。原田公園、近隣コンビニを巡回、人影なし。
富士見台班	２月26日(金)	公園、コンビニ、富士見台小学校とﾏｯｸｽﾊﾞﾘｭｰのｲｰﾄｲﾝｺｰﾅｰを巡回したが、子供たちの姿はなく問題なかった。富士見台交番に立ち寄り、令和４年３月に広見交番に統合されてなくなるという話を聞いた。
神戸班	３月12日(金)	ウォーキング等の人に会うことなし。相変わらず車両での路上生活の車両あり。また、新東名側道、行き止まりの場所にも車両あり。
青葉台班	２月12日(金)	新東名トンネル、公園、広場、コンビニを巡回した。新東名トンネルには空き缶等のゴミが散乱、コンビニ前では高校生５名が飲食をしていたのでゴミの片付けをして早く帰るよう声掛けをした。
今泉班	４月13日(火)	雨のため、青パトにてパトロール、巡視を実施した。地区全体をパトロール、まちセンを中心に北は駿河台変電所、東名高速南側側道まで、南は依田橋町、国道１号バイパス高架下まで。特に問題なし。
吉原班	２月25日(木)	まちセン→西友→吉原一中コープ→吉原中央駅→木之元神社巡回。 大月線歩道橋の階段部分がめくれあがり危険だった。少しテープで止めてあったが危ないので連絡をした。
伝法班	３月25日(木)	夜の人通りが若干増えてきている。声掛けを減らし、“見せる補導”をしている。
広見班	３月25日(木)	まちづくりセンターに集合、大淵地区でプラスチック弾のようなもので撃たれた事件があったとのこと。班員の一人が「熱っぽい」とのことで急遽解散。翌日風邪と判明し、出席者にその旨連絡。
大淵班	４月28日(水)	交番にて情報交換をしたが、地域としては特に問題となるような情報はなかった。通常補導箇所を巡回点検したが、特に変わった様子はなかった。
丘班	３月10日(木)	キングジム、100円ショップセリア、岳陽中周辺、バイパス側道を巡回。特に問題はありませんでした。
鷹岡班	２月25日(木)	鷹岡まちセン→富士西公園→水道山公園→SL入山瀬公園 いずれも異常はありませんでした。
天間班	４月８日(木)	富士西公園の桜の下でベトナム人４人がバーベキューを行っていたので、同行した駐在が職務質問した。富士宮市に住んでいるとのことで、注意と帰宅を促すと、日本語も上手で、話を聞いてもらえた。
岩松班	３月25日(木)	以前の小中学生帰宅途中の溜まり場だった所を中心にパトロール開始。子供たちが隠れていたものは全てなくなり、現在は更地となっていた。翌週の可燃ごみを出す人を２人目撃した。

岩松北班	３月24日(水)	車２台にて北方面と南方面に分かれ、地区全体を巡回した。実相寺、四ッ家公園では桜が咲き始め、特に岩本山では夜桜見物目的の人が多かったが、青少年に会うことはなく、他の場所も特に異常はなかった。
富士第一班	２月４日(木)	今夜は冷え込みも厳しく、人通りはかなり少ない。青葉町方面へ巡回するが、若年者はもとより、人自体に会うことがなかった。特に問題はなかった。
富士北班	２月４日(木)	まちづくりセンター、中央小学校、米之宮公園及びドン・キホーテ駐車場周辺を巡回した。コロナの影響と寒さから、人が全然いなかった。ドン・キホーテも空いていた。
富士駅南班	４月23日(金)	横割公園、水戸島公園、富士駅を徒歩で巡回。横割公園の電灯は点いておらず、駅南トイレの身障者トイレは使用中止となっていた。八幡神社で無灯火自転車があり、注意した。
富士南班	３月11日(木)	まちづくりセンターに集合し、19時より徒歩にて、小・中学校周辺、コンビニ、公園等を巡回したが、特に問題はなかった。
田子浦班	４月８日(木)	今回もコロナ禍ということで、徒歩で田子浦中学校から南方面をパトロールした。不審者が時々出没しているとのことだったが、今回は異常がなかった。通りに防犯カメラ２台の設置を確認できた。
富士川班	２月25日(木)	富士川交番→富士川楽座→新町公園→蒲原病院周辺→日の出町→東町公園→富士川交番の経路で巡視をした。明るくないため人も寄らないが、ネクスコの方に少々人影は見られた。
松野班	４月２日(金)	小・中学校、富士松野・中野台・吉添の各地区の公園、コンビニ・スーパー周辺を巡回した。吉添公園駐車場に他県ナンバーの車両が停まっていたため同行の巡査部長がチェック。青少年に関し、異常なし。
女性第一班	３月13日(土)	ラウンドワン周辺をまわる。ラウンドワンはひどくは混んではおらず。ベビーカーを持ち込んでゲームをする若い母親２名。ｺｲﾝｹﾞｰﾑをする子供だけのグループ、声掛けの前に離れた場所の母親の許へ。
女性第二班	３月13日(土)	ラウンドワンを午前中に巡回、親子連れや大人が多く、子供だけの姿はあまりなかった。富士鑑定団では買い物客は少なかったが、私たちの姿を意識しているようで、予防の巡回補導ができたと思う。
女性第三班	３月６日(土)	中央公園周辺の巡回。ロゼ側の広場には紅白のテントがあったがイベントはなかった。天気も良く、公園広場は親子連れと若者で賑やか。ｻｰﾄﾞﾌﾟﾗﾈｯﾄを入口から覗いた所、ｺｲﾝｹﾞｰﾑが相変わらず盛況だった。
女性第四班	２月20日(土)	岩本山公園を巡回、第２駐車場を開けるほどいっぱいだった。天気も良く梅の花も見頃で大変賑わっていた。多くの家族連れが芝ソリ等で楽しむ。家族の目が行き届いていると感じた。
学校サポート	２月12日(金)	吉原二中で情報交換を行った。富士中他中学校を巡回し、見守りを行った。広見公園では男子中学生３人に声掛けを行った。

６月～８月の行事予定

6月	1(火) 富士市青少年相談センター運営協議会	7月	5(月) 補導措置会議	8月	2(月) 補導措置会議
	臨床心理士来所相談		10(土) 家族会		6(金) 臨床心理士来所相談
	7(月) 補導措置会議		フォローアップミーティング		7(土) 若者サポーター養成講座
	11(金) 体験学習（交流ゲーム）		13(火) 体験学習（カレーづくり）		14(土) 家族会
	12(土) 家族会		不登校対策連絡会		フォローアップミーティング
	フォローアップミーティング		15(木) 青少年対策連絡会		20(金) 青少年対策連絡会
	18(金) 青少年対策連絡会		16(金) 県内一斉立入調査		25(金) カウンセリング講座
	22(火) 臨床心理士来所相談		20(火) 臨床心理士来所相談		27(金) 薬物乱用対策相談員研修会
	29(火) 臨床心理士来所相談		31(金) 保護者教室		31(火) 臨床心理士来所相談
			臨床心理士来所相談		

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

１　相談事業

面接相談

○ 学校生活や進路に関すること
○ 不登校に関すること
○ いじめや友人関係に関すること
○ 養育や生活態度・性格に関すること
○ 非行や性の悩みに関すること
○ その他青少年に関すること

【受付時間】９：００～１６：３０
（土日祝・年末年始を除く）

事前に相談センターに申し込んでください。

電話相談

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」
９：００～１６：００（土日祝・年末年始を除く）
電話　0545(51)3741　またはメールで
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

「ステップスクール・ふじ」

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指します。

【利用時間】８：００～１８：００

○ 自律性と社会性を育てるために
・創作活動　　・自主学習　　など
○ 人間性を育てるために
・ゲーム　・スポーツ　・調理実習など

臨床心理士来所相談

月２～３回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。

予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

保護者教室

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者さんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

２　青少年非行防止事業

○ 青少年指導委員会
○ 青少年健全育成活動
○ 環境浄化活動

３　子ども・若者育成支援事業

富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」

概ね中学校卒業から３９歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。

【受付時間】９：００～１７：００（火～土曜日）
（祝日・年末年始を除く）

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(55)0562
e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(52)4152
FAX　0545(52)3737
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

●富士警察署北側
●岳南電車ジャトコ前駅より徒歩２分